

広 報

とままえ

発行／北海道苫前町
編集／企画振興課広報広聴係



風かおる
人が輝き
躍動するまち

No.512
2004

4



まちの人口

人口／4,316人
男／2,048人
女／2,268人
世帯数／1,769世帯
(2月29日現在)

暖かな春の日差しに包まれて、新たな未来へ旅立つ卒業生
今年も町内の各学校並びに保育園（所）において
卒業式などが挙行され、思い出多き学び舎を後にした。
4月からは新たな環境の中で、それぞれの道を刻んでゆく。
そして、別れ惜しんだ学び舎には、
また新たな出会いが訪れる。
(3月19日古丹別小学校卒業式より)

標語 きけんだよ しらないひとに ついてくな



苫前小学校3年 小野田 峻くん

今までの概念にとらわれず 大胆に脱皮して新たな行政手法で 『人が輝き 躍動するまち 苦前町』をめざして

平成16年度町政執行方針

本日、ここに平成16年第1回苦前町議会定例会開催(3月3日開催)にあたり、町政執行の基本的な考え方と施策の大綱について申し上げます。



町政推進の基本方針

私は、住んで楽しい誇りと希望を持てる町づくり、人に優しい、若々しい元気な町づくりに、農業、漁業、商工業等がしっかりと根づく土壌を作り、底力をつける町づくり、町に“うねり”をつけるための人づくりによる町づくりの四つの柱を基本姿勢として町政推進にあたって参ります。

特に、これからの地方分権は、市町村が基礎的自治体として重要な役割と責務を担う時代と認識しています。

このことから、市町村こそが知恵と工夫によって大きな可能性を発揮できる「先端行政」の担い手になるものであり、自ら考え、自らが行う住民自治こそが、これから求められる自治の姿であり、民主主義の原点であると共に、市町村の発展が北海道や国の繁栄に繋がると考えております。

しかしながら、国内においては、長期的に低迷する経済情勢の中、国の三位一体改革などにみられる構造改革は、地方に大きな負担を強いる結果となり、地方交付税などは、なお一層の減額に拍車をかけており、本町は極めて厳しい財政運営を余儀なくされております。

このような状況であります。このような状況であります。簡素で効率的な行財政の再構築」を図り、全国に知れわたった「風力発電」や「第三種苦前漁港の整備」、「とままえ温泉ふわつとの建設」、「苦前厚生病院の建設」等により社会資本の整備も進んだことから、これらを十分に生かす方策を展開し、本町の産業と一体化させ、更に、町の経済力を高めて参りたいと考えております。

これからは、「今までの概念にとらわれず、大胆に脱皮して新たな行政手法」で将来的に町民の幸せをより豊かなものにするために、地に足のついた、しっかりとした町政を進めて参ります。「人が輝き 躍動するまち 苦前町」をめざし、町民と行政が一体となって、英知を結集し、発展の礎をしっかりと築いていく決意であります。

町議会の皆様、町民の皆様のより一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

平成十六年度予算及び 財政運営についての 基本的な考え方

本町の財政は、構造的に極めて厳しい状況が続いています。

長引く景気の低迷や国の財政危機等から、町の歳入の約半分を占める地方交付税が、平成十一年度から連続して削減され、平成十六年度の地方財政計画では、臨時財政対策債も含めた実質的な削減率が、対前年比マイナスイター・九パーセントと過去最高の引き下げ幅が示されています。

一方、歳出では、近年集中して実施した各種大型事業の公債費等が約三分の一を占め、現在実施中の下水道事業や実施を予定している苦前中学校改築事業も加わって、今後とも、これらの借金の返済額は高止まりで推移する見通しとなっております。

このような厳しい財政構造の中で、平成十六年度予算は、これまでの予算編成方法を見直し、更なる節減・合理化に努めることとしました。

具体的には、歳出を経常的経費と政策的経費に分け、経常的経費一〇パーセントを削減の上、各課ごとに予算配分枠を設定する「枠配分方式」を採用するとともに、政策的経費は、各課ごとに優先順位を付してその必要性、緊急性を掘り下げ、厳選し計上したところであります。

これにより、平成十六年度予算は、前年度に比べて緊縮型予算となつてくるものの、なお、収支不足となり、四年連続して各種基金積立金からの繰入を余

儀なくされ、当初で約二億八千万円の繰入であり、今後も補正により、更に、増加する見通しとなっております。

国における構造改革、地方分権、市町村合併推進等の動向を考慮した場合、将来への財政健全化を図るべく本町の実体力に見合った財政構造への転換が急務の課題であり、適正な受益者負担等自主財源の確保に取り組みとともに、事業の実施に当たっては、費用対効果の視点に立ち、大胆かつ厳格な見直しによ

る取捨選択・重点化を図るとともに、これまでの常識を覆す視点で、義務的経費を含めた、いわば「聖域」とされてきた経費についても、節減・合理化に努める必要があります。

このためには、町民に対して、町の厳しい財政状況について引き続き周知し、町の財政健全化の取り組みに理解を求めるとともに、受益者負担や行政と町民との協働といった考え方について、意識の醸成に努めていきます。

など、様々な農政の改革が進められております。

本町農業は、担い手の高齢化や後継者不足に加え、蔬菜生産の減少、地力の低下など多くの課題を抱えており、農業経営の安定と本町農業の持続的発展を図るためには、米政策改革大綱を踏まえ、早急に生産面・経営面双方の構造改革に取り組み、地域農業の活性化を図る必要があると考えます。

昭和六十一年度から現在まで、本町農業の指針として農業振興計画を策定し、様々な課題や目標達成に向けて取り組んできましたが、平成十六年度からは、農業振興計画に代わるものとして、需要に対応した作物・販売戦略、水田の利活用、担い手を中心とした生産構造の改革など、

その実現に取り組む「地域水田農業ビジョン」を策定した中で、共同経営や法人化等の経営体育成、農地の利用集積による経営基盤の強化、輪作体系の確立など、関係機関・団体が丸ごとなつて地域農業の構造改革に取り組みたいと考えております。

また、飼料生産基盤に立脚した生産性の高い酪農経営の実現を図るため、「道営担い手育成草地整備改良事業」により、草地基盤の整備を推進し、自給飼料の低コスト生産や農作業の効率化を図る考えであります。

「経営体育成整備事業」については、継続中の東川地区と西古丹別地区及び平成十五年度で新規採択された九重地区に対し、「食料・環境基盤緊急確立対策事業」により受益者負担の一部を助成し、負担の軽減を図って参ります。

農道整備については、留萌中部三期地区広域営農団地農道整備事業により継続で整備を進めて参ります。

更に、かねてから地区より要望のありました「八線沢ため池改修工事」についても、本年度、実施計画樹立費を計上し、調査を実施することとしております。また、土地利用については、

高齢化が進み労働力が減少する中で、離農跡地の増大が懸念されることから、今後も、「農地移動適正化あつせん事業」、或いは、

「農地保有合理化事業等」による総合的な施策に積極的に取り組み、農地の適正な保有と利用を図っていく考えであります。

林業

林業は、農業・漁業とともに本町の一次産業の中核を担い、特に、その基である森林は、水資源の涵養や大気浄化など森林の有する多面的機能の重要性が、地球規模で見直されてきている現状から、貴重な森林資源の拡大・確保を図るため、優良な森林育成を目的とした除間伐や枝打ちを実施し、資源の確保に努めております。

更には、森林所有者の負担軽減を図るため、民有林造成事業に対する助成を行うとともに、現在取り組んでいる「森林整備地域活動支援交付金制度」を活用し、森林施策の実施に向けた地域活動支援を行って参ります。

また、林業の担い手育成対策を推進し、併せて昨年に引き続き「緊急地域雇用創出特別対策事業（ニシンの森再生事業）」を積極的に実施し、雇用の拡大・就業機会の創出を図り、適正な保育管理等による山づくりと林業経営の安定実現に努めて参ります。

「小規模治山事業（栄浜地区）」については、平成十五年より着

町政推進の重点施策

産業の振興と

地域活性化対策

農業

本町の農業・農村は、恵まれた自然と土地資源を生かし、専門的な経営により、地域を支える重要な産業として発展し、本町の経済社会の基盤として大きな役割を果たしています。

しかし、本町の農業・農村をめぐる最近の情勢は、農産物価

格の下落による農家経営の低迷、農家戸数の減少や農業従事者の高齢化の進行による農村活力の低下等、多くの課題に直面しています。

このような中、国においては、これまでの「食料・農業・農村基本計画」に即した施策の展開に加えて、十四年四月には、「食」と「農」の再生プランを公表し、食品に対する消費者の信頼を回復するための施策の重点化が進められているほか、同年十二月には、水田農業政策・米政策の大転換を目的とした「米政策改革大綱」の策定や、特定地域における規制の特例措置を講じる



手しており、継続事業（四力年計画）により山腹の崩壊防止、公共施設の保全のため事業を実施して参ります。

漁業

水産業の現状を見ると、過剰漁獲や海洋環境の悪化から周辺海域での水産資源の減少が続いております。

このため、本町では平成五年からウニの人工種苗放流を実施し、磯根資源の増大に努めており、本年度も継続して支援して参ります。

また、ヒラメの放流やハタハタの増殖事業等栽培漁業についても、資源維持増大に向け積極的に支援する必要があります。



アワビの人工種苗については平成十年から放流を行ってきましたが、放流効果が上がらない状態であるため、関係機関と協議して本年度は人工種苗放流を中止し、今後のアワビ資源の推移を見守ることとします。

特定漁港漁場整備事業計画の決定により、平成十六年度も国直轄による「第三種苫前漁港整備」が引き続き進められ、今後不足している係留岸壁や用地整備により、安全で作業の効率化が図られるものと考えております。

現在、苫前漁港新港側背後地では、「漁港環境整備事業」により緑地・管理棟・駐車場等の整備が進められ、隣接する海水浴場・オートキャンプ場・町営風力発電所や苫前漁港ダブルデッキを連動させ、都市との交流拠点とし、観光客及びプレジャーボート利用者等と漁業者が、一体的に活用できる総合的な振興を図っていきます。

漁業環境が厳しさを増す昨今、自立した漁協運営の確立と地域漁業の一層の振興を図るため、天塩・初山別・羽幌・苫前の留萌北部四漁協が合併し、本年一月、新たに「北るもい漁業協同組合」としてスタートしたことに伴い、経営基盤の強化と組織の効率化が必要となり、「漁業組織緊急再編対策事業」に対しても助成して参ります。



商工観光

長期的に低迷する不況の中で、公共事業削減や近隣市町村への大型店の進出など、本町商工業を取りまく情勢は、一段と厳しさを増してきており、商工会による「中小企業指導事業」をはじめ、町としても振興資金融資制度・小口金融貸付資金制度・利子補給制度等を継続的に実施して参ります。

観光事業については「風かおるまちとままえ」をテーマに、風力発電所・ホワイトビーチ・オートキャンプ場・古代の里・三毛別熊事件跡地、そして「とままえ温泉ふわっと」などと連動した観光客の増加を図って参ります。

ります。

また、町民から要望の多い夏の観光イベントについては「風」をテーマにした楽しい効率的な内容を検討し、事業が具体化次第随時、議会並びに町民の皆様へお知らせし、ご協力をいただきながら実施して参ります。

更に、国の「緊急地域雇用創出特別対策推進事業」を活用し、映画やテレビドラマ等のロケ地としての調査を行い、ホームページ上に公開する「苫前町ロケ地調査及びHP（ホームページ）公開事業」について現在、補助金申請中であり、補助事業として決定次第、本事業を推進することとし、ロケ隊の誘致や観光客の誘致に結びつけて参りたいと考えております。

青少年研修センター「ななかまどの館」の運営については、宿泊者の急激な減少に繋がらないよう委託業者とともにサービスマスの向上や営業努力をして参ります。

新日本海地域交流センター（とままえ温泉ふわっと）の運営

株式会社苫前町振興公社の運営により営業を行ってきたところですが、オープン以来同公社の計画した営業収益確保が困難であることから、人件費をはじめ営業費用の徹底した見直しを

図り営業活動を行っております。しかし、低迷する経済情勢の中で、売上額は不安定であり、平成十五年度においても、計画した営業収益の確保が難しい状況で推移しております。

今後における同公社の運営については、最近の各種の民間調査における「好きな温泉」や「好きな温泉宿」部門で上位にランキングされていることから、更に知名度アップを図り、年間を通しての集客力及び利用客の向上を目指し、更なる営業費用の見直しを図り、安定的経営が成り立つよう、町としても適切な助言や積極的な支援を行い、町民のための施設として、又、地域経済の活性化に寄与する施設となるように努めて参ります。



風力発電施設の有効活用

本年度、ウインピラ発電所（株式会社ドリームアップ古前）内に、日本はもとより世界でも初めての風力発電安定化に資する大型蓄電設備の実証試験施設が建設されることから「風車の町」として、更なるイメージアップを図られることが期待されます。

このことから、更に風力発電事業の先進地としての実証や実績向上に意を注ぎながら、情報発信基地としての役割を担うと共に、安定的な施設運営を構築する自主管理体制の強化に努めたいと考えております。



社会福祉の充実と

健康づくりの推進

高齢者福祉対策の推進

我が国は、戦後の「団塊の世代（昭和二十二年から昭和二十四年生まれ）が六十五歳以上になる二〇一五年には、六十五歳以上の人口が三、二七七万人、高齢化率二六パーセントになることが予測され、国民の四人に一人が高齢者となる「二〇一五年問題」で、これまで我が国を含め諸外国が経験したことがない速さで超高齢社会へ突入する年とされており、この対策が急務となっております。

本町の高齢化率は、平成十六年二月一日現在で、国の高齢化率一八・五パーセントを遙かに超え三二・二パーセントに達しており、今後さらなる高齢化が進むことが確実であると予測され、高齢者が自立して少しでも長く在宅で生活ができる介護予防対策を最重点に、行政内部の連携を一層強化し、町の組織が横断的に一体となった取り組みを進めていきます。

更に、元気な高齢者がその知識と経験を活かした地域社会の担い手として、活躍ができる場

を確保するなど、将来の人口構造を見通した福祉政策を推進して参ります。



地域における

保育事業等の推進

育児不安等に対する相談指導、子育て情報の提供、保育所（園）施設の開放及び保育所（園）事業への参加促進等による地域における子育て家庭に対する支援活動を推進するため、苦前保育園及び古丹別保育所に継続して「地域子育て支援センター」を設置していきます。

また、夫婦の出生力の低下に伴う急速な少子化の進行を踏まえ、国の基本施策として家庭や地域における「子育て機能の再生」を実現するため、平成十五

年七月に次世代育成支援対策推進法が公布され、平成十七年度から十年間に亘る「市町村行動計画」の策定が義務付けられたことに伴い、平成十五年度に実施したニーズ調査を踏まえた本町の行動計画を本年度末を目途に策定いたします。

障害者福祉対策の推進

利用者本位のサービス提供を基本に、障害者自らがサービスを選択し、契約によりサービスを利用する「支援費制度」が平成十五年四月から施行されましたが、本年度もこの制度の啓蒙を推進するとともに、福祉サービスの質の向上を図ります。

また、財団法人北海道障害者スポーツ振興協会が主催する第四十二回北海道障害者スポーツ大会が本年七月三日、四日の両日、留萌支庁管内の各市町村を会場に開催される予定であり、本町においても「町スポーツセンター」及び「とまま温泉ふわつと」を会場として、二種目（フロアバレーボール、サウンドテーブルテニス（盲人卓球））の競技が開催される予定となっていることから、この開催に対し、人的かつ財政的な支援を行っていきます。

社会福祉協議会・

福祉団体等の支援

社会福祉協議会は、福祉事業分野において町行政の一翼を担っていたらいており、平成十四年度から町職員を事務局長として兼任発令し、自立に向けた業務体制の確立、更には、財政面での支援を行っております。

社会福祉協議会資金は、補助金や寄付金など非常に不安定な財務体制であります。訪問介護事業での地域への貢献、各福祉団体とのネットワーク化による地域に密着した活動展開等、社会福祉協議会の重要性は今後、益々高まってくるものと認識し、町としても、なお一層の連携を深めていきます。

また、社会がめまぐるしく変化する中で、地域福祉に対する住民からのニーズも多種・多様化しており、住民と行政が一体となり地域福祉対策を推進することが重要となっております。

地域の福祉行政を推進する上で、地域住民や社会福祉団体等との連携が必要不可欠であり、社会福祉団体等の体制の強化や充実した組織運営等が求められることから、それらの団体に対し必要な人的、財政的な支援を行っていきます。



健康づくり対策の推進

依然として進展する急速な高齢化や保健医療を取り巻く環境の変化等に即応し、地域における公衆衛生の向上及び増進を図るとともに、地域住民のニーズも多様化し、かつ、高度化する保健、衛生等に関する需要に的確に対応するために、地域の特性と社会福祉等関連施策の有機的な連携に配慮し、地域住民の健康の保持及び増進を目的とする施策を総合的に推進することが重要となっております。

町の将来を担う子どもたちの健全育成を図るといふ観点から、医療、教育、保育など関係機関との連携を深め、母性を含めた乳幼児及び児童等に対する保健

指導、健康診査等の母子保健活動を推進していきます。

また、成年期以降には、がん、高血圧症、高脂血症、糖尿病などの生活習慣病に関する予防対策として、健康教育、健康相談を積極的に実施するとともに、保健サービスを効率的かつ効果的に提供するため、基本健康診査と各種がん検診を抱き合わせで実施するなど、老人保健法による「保健事業」を総合的に実施していきます。

更には、心身等に障害のある方に対する機能訓練や痴呆予防

事業などを通し健康保持増進に努めるとともに、社会参加を促す手助けとなるような施策を講じていきます。

また、行政の一方通行ではなく、住民と行政が一体となって町民の健康づくりを推進するため、「健康づくり推進協議会」や「食生活改善協議会」の住民組織活動に対する支援を行うとともに、これらの団体との連携を強化し、地域ぐるみでの健康づくり推進体制を構築していきます。

生活環境の整備

本年度は国庫補助事業として、防雪柵設置事業二カ所を計画し、道路網の整備を図っていきます。道路維持関係は、昨年から取り組んでいる道路維持業務の見直し作業を押し進めるとともに、経費の節減を図りつつ、簡素で合理的な管理体制の確立を目指します。

更に、冬期間の除雪対応についても、常に費用対効果に考慮しつつ、民間組織の機動力を有効活用し、地域住民の要望に込めるとともに、安全で快適な道路管理を図っていきます。



水道施設整備

「古丹別川氾濫防止対策改修工事」で支障となる「水道取水施設移転工事」を現在位置から二上流地点で行います。

移転にあつての条件や問題点も関係機関の協力により解決される方向であり、本年度は、陸地の取水施設と道路沿いに布設する導水管工事が融雪後早期に、河川部の取水施設は、湯水期の冬期間に工事を行い、長期的な視野に立つた水道本来の目的である「豊富で安心・安全な水」を確保するため、必要な措置を図っていきます。

河川、排水整備

道が継続工事中の二級河川古丹別川及び三毛別川、さらに関連施設を含め代替施工中の番屋の沢川とも、昨今の公共事業を取りまく厳しい状況の中、関係機関並びに隣接する多くの土地所有者の方々の揺るぎない協力体制を仰ぎ、着々と治水事業促進が図られております。

今後、町として自然災害から「住民の生命、財産を守る」とは最優先課題であり、常に治水整備の必要性を訴え続け、事業に遅延が生じることのないよう迅速な対応を図っていきます。

交通対策

生活路線バスは、唯一の公共交通機関として、その維持が強く求められています。

このことから昨年引き続き、留萌支庁生活交通確保対策協議会策定の「生活交通路線維持確保三力年計画」に基づき、国が関与する幹線路線を確保するとともに、上平古丹別線についても、町が関与する路線として確保し、財政支援を行っていきます。

生活排水等処理 対策の推進

平成十一年度に開始された下水道汚水管敷設工事は、一部地域の施工を以て六年間の当初計画どおり第一期苦前地区工事が完成となります。

本年度は、港地区埋立地域において延長四二六メートルの工事を行い、この区間の完成を以て苦前地区汚水管布設計画の全線二一三四五メートルの敷設工事は完了いたします。

さらに、前年度より併行して進めている委託発注済の終末処理場の水処理設備、電気設備も鋭意工事を取り進め、本年度末の完成へ向け万全を期しながら推進していきます。

行政改革の推進

行政改革大綱

社会情勢の変化と長期的な不況による経済情勢の変化並びに国の構造改革を背景として地方行政はかつてない大転換期に直面しております。

極めて厳しい行政運営を余儀なくされている中、引き続き、第四次行政改革大綱を策定し、行財政全般の見直しを行い、町民皆様のご理解とご協力のもと、随時、適切な改革を推進し、簡素で効率的な行財政の再構築を目指し、新しい時代に即した町づくりの計画的な展開に努めていきます。

古丹別支所の移転

古丹別市街地区を含めその周辺地区の住民の方々への利便性を図るため、昭和二十一年に古丹別支所を設置し現在に至っておりますが、町民の皆様からの多様なニーズに対応し、効果的な行政サービスを提供するため、行政改革の一環として、古丹別支所を公民館へ移転することとしました。

転入転出の事務処理による混乱を避けるため、公民館での古丹別支所の事務を四月十二日から開始する予定であり、住民票・戸籍謄抄本・印鑑登録証明書等の交付、税金や各種手数料等の収納など従来どおりの事務を取り扱いたいします。

市町村合併問題

第二十七次地方制度調査会の最終答申が昨年の十一月十三日に発表され、人口一万人未満の市町村には、大変厳しいものとなっております。

現在、留萌中部3町村任意合併協議会を立ち上げ、合併する」とした場合の姿を協議するこ



ととしておりますが、本町の存亡に大きく関わることから、住民、議会、行政が一体となってこの問題に取り組んでいかなければなりません。

いずれにしても、合併の是非は合併特例法の期限が平成十七年三月までとなっております、更に、合併特例法期限後の新たな法律も、今の通常国会で制定される見通しから、国の動向にも注視し、本町の最重要課題のひとつとして取り組んでいく所存であります。

生涯学習社会の構築

心身ともに健康で心豊かな人間性の涵養と、次代を担い、明日の町づくりに意欲のある人づくりを推進することは、これからの社会を支え、発展させていくための基礎を築きあげることです。

家庭教育、学校教育、社会教育がともに連携・融合し、住民自らが、主体的に学ぶ生涯学習体制の整備充実を推進するとともに、教育委員会をはじめ、他の行政部局、更に、各種の教育機関や民間教育関係団体とも密接な連携のもと、最善の努力をしていく所存であります。

むすび



以上、平成十六年度の町政に臨む所信を述べさせていただきました。

冒頭にも申し上げましたが、バブル経済崩壊後の公共事業拡大による景気刺激策はかつてない負債と、長引く経済不況や少子高齢化社会の到来により、国の構造改革は国民や地方に大きな負担を強いる結果となりました。

これからの社会は、これまでに経験したことのない変革の荒波にさらされております。

これまでの本町の枠組みも大きな転換を余儀なくされてお

ますが、私たちの世代には次の世代に向けた発展基盤を築いていくという使命が与えられております。

社会構造や経済システムがグローバル化する中で、歴史的な変革の渦中であり、国際社会や国の動向を視野に入れながら、本町の現状や課題を十分認識し、将来を見据えた本町発展の着実な推進を図るため、最前の努力を尽くす所存であります。

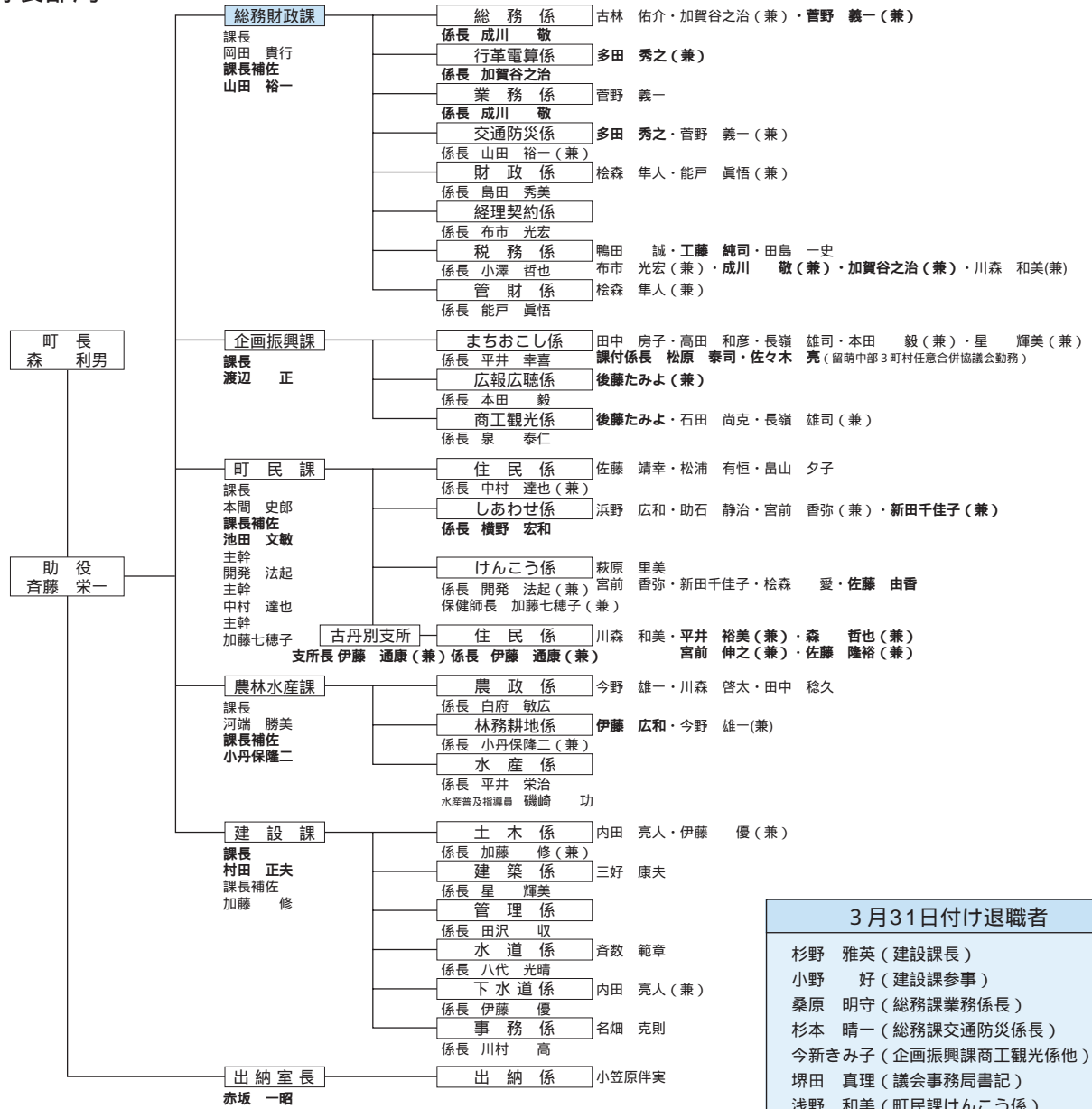
議員各位並びに町民の皆様の一層のご理解とご協力を心からお願ひ申し上げ、私の所信表明と致します。

苫前町(その他執行機関)機構図

(平成16年4月1日現在)

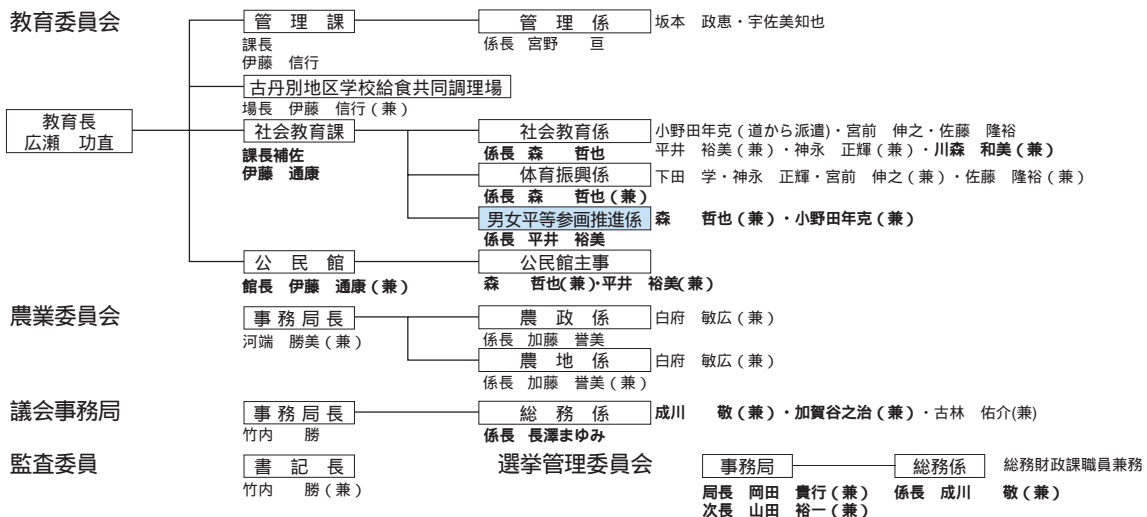
平成16年4月1日付けで機構改革並びに人事異動がありましたので、新たな体制をお知らせします。

町長部局



3月31日付け退職者	
杉野 雅英	(建設課長)
小野 好	(建設課参事)
桑原 明守	(総務課業務係長)
杉本 晴一	(総務課交通防災係長)
今新きみ子	(企画振興課商工観光係他)
堺田 真理	(議会事務局書記)
浅野 和美	(町民課けんこう係)

その他の執行機関



機構図中、網かけの課・係については新設されたもの。また、太字の職員が今回の異動対象者です。

新たな未来への出発...卒業、卒園



3月1日午後1時30分
道立苫前商業高等学校卒業生34名



3月10日午前10時
苫前中学校卒業生18名



3月10日午前10時
古丹別中学校卒業生21名



3月18日午前10時30分
力昼小学校卒業生 1名



3月19日午前10時
古丹別小学校卒業生11名



3月20日午前10時
苫前小学校卒業生12名

春穏やかな日差しを浴びて、町内の高校・中学校・小学校・保育園保育所で卒業式などが執り行われた。

生徒・児童・園児らは先生や関係者からの祝福と励ましを受け、新たな世界へ飛び立ち、慣れ親しんだ学び舎を後にした。



3月25日午前10時
苫前保育園卒園児14名



3月26日午前10時
古丹別保育所修了児21名

「文芸」

苫前町文芸と語る会

(短歌)

反戦の黄色いハンカチ 翻る岩壁にゴメ声文し啼く
古丹別 住吉 美恵
思考力花閉じると淋しさが漂ふ時に人は老いゆく
古丹別 大矢根亮子
肩の辺に亡き母の影あるやうに感じてさびしい春雷のあと
栄浜 横内 弘子
ひとり住む老を案じて遠き息子が雪の夜道を駆け付け来たる
長島 水谷 露子
これからも明日への未来胸に秘め春のブラウス鏡に写す
古丹別 木幡とく子

(俳句)

陽あし延ぶ 園児等の声 空にとぶ
古丹別 林 千代美
冬將軍 寄せ来る里へ 梅便り
古丹別 桑 風

川柳

大空を 蹴上げるブランコ 男の子
古丹別 運上 吉雄
おはようの 一言執務に 湧く意欲
古丹別 今新きみ子
思慮浅い 言葉に友を なくす羽目
古丹別 斎数 範章
清楚です 雪も時には 牙をむく
古丹別 関 武
嫁ぐ娘へ 親はいたすら 願う幸
古丹別 鎌田 信夫

(文責・鎌田)

チャリティーカラオケ大会



三月六日とままえ温泉「ふわつと」において、二〇〇四年チャリティーカラオケ「議会議員大熱唱大会inふわつと」が開催され、町議会議員十三名が持ち前の歌唱力を披露し、集まった観衆250名から大きな歓声を受けていた。

また、テレビ放映でもおなじみとなった「温泉ダンサーズ」も特別出演し、会場を盛り上げるとともに、この収益金の一部が苦前町社会福祉協議会へ贈呈された。

リサイクル広場大盛況



3月6日町公民館にて「リサイクル広場」が開催され、子供服や靴、おもちゃなど約300点が無料で提供され、訪れた親子らは掘り出し物

に大喜び。このリサイクル品は、町公民館と役場町民課けんこう係の担当者が子育て支援事業などに参加している「子育て家庭」に、リサイクル品提供を呼びかけ集めたもの。

来場者の中には、気に入ったりリサイクル品を手に入れた「孫に何か良いものはないか」と訪れる方もおり、会場でのアンケート調査でも「是非、続けてほしい。」との意見が多いとのこと。

町公民館では、年2回程度実施していきたいと考えている。是非、足を運んでみては!

第5回 苦前町雪合戦大会 7人のサムライ(苦商高)2年連続優勝

2月29日とままえ温泉ふわつと前広場において第5回苦前町雪合戦大会が開催され、町内8チーム65名が参加し、苦商高生徒で編成された「7人のサムライ」チームが見事2年連続優勝を飾った。

大会結果は次のとおり

- 優勝** 7人のサムライ
- 準優勝** 古中野球部
- 3位** スキー少年団指導員 朱蓮会B



北海道子どもかるた大会

見事! 中学生の部第三位

小学生の部 敢闘賞

二月二十九日札幌市定山溪にて「第七回北海道子どもかるた大会」が開催され、苦前町子ども会の小中学生二チームが出場し、中学生の部が第三位、小学生の部が敢闘賞(三位決定戦敗退)と好成績を残した。

大会は、全道から小学生三十一チーム(百二十六名)、中学生二十八チーム(百十名)の総勢五十九チーム(二百三十六名)が参加し、熱戦が繰り広げられた。

小学生の部では、初戦に準優勝の枝幸町に一枚差で負けたものの敗者復活戦を順当に勝ち上がり、三位決定戦まで駒を進めたが、またしても一枚差で破れ、敢闘賞を受賞。中学生の部では、三回戦まで順当に勝ち上がり、



三位入賞を果たす中学生チーム



敢闘賞受賞の小学生チーム

準決勝で優勝の天塩町に僅差で破れ、三位決定戦で稚内市を破り見事三位となった。

この大会では、過去小学生の部で二度優勝しているが、中学生の部の入賞は初めてで、全日本下の句かるた協会山本満永世名人(会長代行)から認定される段位において、瀬川貴士くん(苦前中三年)に2段が認定された。

出場選手は次のとおりです。

- 小学生の部(敢闘賞)
- 五十嵐雄大、長澤圭宏、川村彰(苦小六年)、星野幸太(同小五年)、五十嵐大空(同小四年)
- 中学生の部(第三位)
- 初山隼人、瀬川貴士(苦中三年)、初山憂気、瀬川久美子、小澤春菜(同中一年)

林野火災ポスター 瀬川直生君が入選



この度、道が実施した「林野火災予防に関する作品コンクール」において、瀬川直生君（苫前小入選時5年）が1330作品の中から上位3名に入る知事賞入選を果たし、3月4日同校校長室にて留

萌支庁の佐々木啓林務課長より表彰状が伝達された。
 入選作品は、山火事から逃げ惑う動物達を描いたもので、動物達への思いやりがよく表現されている。
 瀬川君は、日頃から絵を描くことが大好きで、留萌信金の絵画コンクールでも入賞し、カレンダーにも掲載されているほどの腕前。
 この作品は、この4月には「山火事予防啓発用ポケットティッシュ」にも活用され、約6000個が管内各市町村に配布される。
 なお、作品は「ちびっ子ギャラリー（18頁）」で紹介しています。



三月四日東京都で開催された平成十五年度消防功労者消防庁長官定例表彰式において、苫前町消防団（小倉哲志団長、団員九十二名）が、日頃の消防実践訓練や地域防

苫前町消防団 消防庁長官表彰で竿頭授与

火クラブ活動支援などを通じた火災予防活動が認められ、消防庁長官表彰並びに竿頭授与の授与を受けた。今定例表彰式での竿頭授与は、全国で三十六機関が受賞している。
 受賞を受けた小倉団長は、「日頃の活動が認められ、こんなうれしいことはない。近年、小さな火災はあるものの、大事には至っておらず、今後も生命と財産を守り、火災のない町づくりに努めたい。」と更に身を引き締めていた。

ファイヤー通信 春の全道火災予防運動実施

実施期間

4月20日（火）～4月30日（金）まで

目的

この運動は、火災が発生しやすい気候となる時期を迎えるに当たり、火災予防思想の一層の普及を図りもって火災の発生を防止し、死傷事故や財産の損失を防ぐことを目的とする。

統一指標

『その油断 火から炎へ 災いへ』

重点目標

- (1) 住宅防火対策の推進
- (2) 林野火災予防対策の推進
- (3) 乾燥時及び強風時の火災発生防止対策の推進
- (4) 放火火災予防対策の推進



シルバー防火クラブ防火講座

3月12日役場大会議室において町シルバー防火クラブ防火講座が初めて開設され、同クラブ加盟の町内老人クラブ11地区27名が参加し、火災通報119番体験や心肺蘇生方法、消火器による消化訓練などいざというときのために火災予防や人命救助方法など学んでいた。



火事・救急は119番!

北留萌消防組合消防署 苫前支署 4-2321
 " 古丹別支署 5-4119

土砂災害に注意を!

土砂災害危険箇所図作製



北海道留萌土木現業所では、台風や地震などの災害により土砂災害を防ぐため、これまでの計画的な施設の整備を図るとともに、災害の恐れがある危険箇所を広く道民の皆様にお知らせし、早めの避難など防災対策に

役立てるため、「土砂災害危険箇所図」並びに「土砂災害の予防に向けて」パンフレット（広報折込パンフ）を作成した。危険箇所図では、町内危険箇所七十二箇所（土石流危険箇所二十二、急傾斜地崩壊危険箇所四十六、地すべり危険箇所四）が示され、今後、各地区集会施設並びに指定避難所へ掲示される。「備えあれば憂いなし」一度、最寄の施設で、ご確認ください。

苫前小学校卒業生 盲導犬募金箱を設置



田沢苫前郵便局長へ募金箱を手渡す児童

苫前小学校卒業生（12名・教諭山田洋一）が総合学習において、全道に盲導犬の状況について学習し、町内に盲導犬の募金箱を設置されていないことから、北海道盲導犬協会から募金箱を提供いただき、募金活動への協力を呼びかけるため、苫前郵便局、とままえ温泉ふわっと、町公民館の窓口へ募金箱を設置した。

また、学習で学んだ内容について、A4版四つ折のパンフレットを作成し、盲導犬を育成するための費用（一頭につき三百万円）や盲導犬が不足している状況、留萌市での盲導犬利用者の声を掲載し、募金活動への協力を呼びかけている。

今年も交通安全を願って!

新入学児及び園児らへ町内の各団体や企業から交通安全を願うマスコットや用品が届けられ、関係者に喜ばれている。寄贈を行った団体及び企業は、次のとおりです。ありがとうございました。

- 商工会女性部～「手作りの鈴」
- 高齢者事業団～「ひょうたんマスコット」
- 苫前婦人会～「カエルと犬のマスコット」
- (株)藤観光バス～「ランドセルカバー」
- 沿岸バス(株)～「手提げ袋」



鈴を手渡す商工会女性部



手提げ袋を寄贈する出口沿岸バス代表取締役

チャレンジデー2004

島根県 吉田村VS苫前町 対戦決定! 5月26日(水)開催
(2,396人) (4,313人)

昨年に引き続き、苫前町体育協会と苫前町スポーツ少年団本部を主体に実行委員会を組織し、



まちの様々な力を活かし、元気な地域づくりの「きっかけ」として、全ての町民が参加できるチャレンジデーを実施することとなりました。

対戦相手の吉田村は、島根県飯石郡に位置し、人口2,396人の村で、古くから鉄生産の村として知られております。

チャレンジデーとは?

5月の最終水曜日の午前0時から午後9時までの間、15分以上の運動を行った人の参加率を競い合う住民参加型スポーツイベントです。

参加率とは以下のとおりです。

参加者人数÷人口(平成16年2月1日現在の4,313人)

- 参加対象 苫前町内にいる全ての人
(町外の通勤者、観光客も対象となります。)
- 実施種目 15分以上を継続して体を動かしていれば、スポーツの種目は問いません。
- 実施場所 苫前町内であればどこでもOK!

町民皆様の心をひとつに、
まちが元気になるよう頑張りましょう!

社会教育課からのお知らせ

スポーツセンターの開館時間が変わり 職員が公民館へ移りました！

現在の体制をスリム化し、より効果的なサービスを提供するため行政改革の一環として、スポーツセンターの開館時間を次のとおり変更いたしました。

職員は公民館勤務となりますが、委託管理人を配置しますので、引き続き体育施設としてご利用いただけます。

なお、連絡先電話・FAX(5-4515)は、これまで同様となっております。管理人不在の場合は、公民館へ転送されることとなっております。町民の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

区分	開館時間	備考
月曜日	休館	従来どおり
火曜日	13:00~21:00	但し、夏・冬休み期間は、午前9時より開館します。
水曜日		
木曜日		
金曜日		
土曜日	9:00~21:00	従来どおり
日曜日	9:00~17:00	
祝祭日		

平日の午前中を休館とさせていただきますので、ご協力方よろしくお願いたします。なお、事業等により平日午前中の使用を希望する場合は、お申し出下さい。

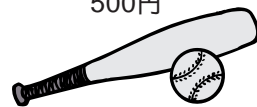


スポーツ安全保険に加入しましょう 平成16年度受付中

～加入受付完了の翌日から平成17年3月31日まで有効です～

子ども(中学生以下、団体活動のみ) 500円 子どもワイド(個人活動も保障) 1,050円
 大人のスポーツ活動 1,500円 大人(文化・地域活動等) 500円
 老人クラブ等(60歳以上) 800円

苫前町公民館、苫前福祉センターで受付しています。



社会教育施設が5月1日からオープンします！

マナーを守って
ご利用下さい。

苫前町郷土資料館

期間 5月～10月(10:00～17:00)

入館料 大人 210円 小人 100円

休館日 月曜日(夏休み期間を除く)但し、月曜日が祝日の場合は開館し、翌日の火曜日を休館とする。

苫前町B & G海洋センター

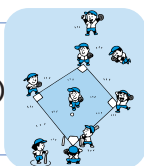
期間 5月～9月

区分		午前	午後	夜間
		10時～12時	13時～17時	18時～20時30分
5月 9月	火～金曜日	/	/	/
	土・日曜日祝日			
6月	火～金曜日	/	/	/
	土・日曜日祝日			
7月～8月	火～日曜日祝日	/	/	/

苫前町野球場

期間 5月～10月(5:00～21:00)

使用料 夜間照明料 20分 310円



苫前パークゴルフ場

(からまつ・はまなすコース)

古丹別リバーサイドパークゴルフ場

力昼パークゴルフ場

期間 5月～10月(6:30～日没まで)

使用料 無料

用具 スポーツセンター、苫前町郷土資料館、とままえ温泉ふわっとで貸出ししています。

使用料	区分	町内	町外
	中学生以下	無料	100円
高校・一般	100円	210円	

～休館日～
月曜日(夏休み期間を除く)。但し、月曜日が祝日の場合は開館し、翌日の火曜日を休館とします。

～あなたの生涯学習、応援します～ お問い合わせ・ご相談は...

苫前町教育委員会 社会教育課 電話 5-4076

E-mail: tph@jasmine.ocn.ne.jp HPアドレス: http://www1.ocn.ne.jp/tomamae/

新たに民生委員が委嘱されました。



豊浦・昭和・興津地区の担当民生委員児童委員に芳賀良子さん（字昭和=61才主婦）が委嘱され、2月26日苫前町民生員協議会席上、委嘱状が交付されました。

日頃から子ども会や農協女性部、老人クラブなどの活動を支援し、地域からの信望が厚い方です。趣味は、木彫を手がけサークル活動にも参加。「微力ではありますが、地域の方のためにお役に立てるよう頑張ります。」と抱負を語ってくれました。

親子料理教室で朝食を！

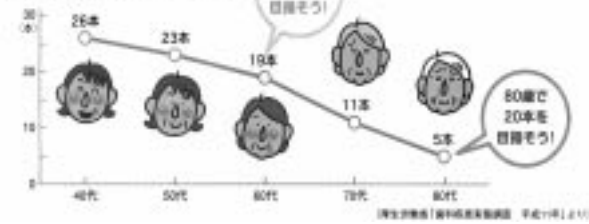


病院栄養士協議会（会長田井陽子）は3月13日町公民館において、18名の親子が参加のもと料理教室を開催した。

最近、朝食を食べない家庭が増えており、栄養をしっかりとれる簡単レシピにより、「おにぎり」や「ほうれん草入りチーズオムレツ」、「なめこ汁」、「キャベツおひたし」の4種類を調理。

参加した子ども達は、「これなら私も作れるかな！」と料理を通して親子が触れ合っていた。中には手馴れたちびっ子料理人も！

年とともに歯が抜けていく！
成人の歯の数（全人口平均）



厚生労働省では、八〇歳になっても二〇本は自分の歯を保つことを目標とした「8020運動」を進めています。二〇本以上の歯があれば、自分の歯で何でも噛んで食べることができます。ところが、四〇歳代を境に急速に歯がなくなります。その原因は、「虫歯」となつて多く、次いで「虫歯」となつて

歯の健康を保つことで、おいしく食べられ、栄養をしっかりと摂ることで、体も元気になります。現在、口腔内に特にトラブルがなくても年1回「歯医者さん」に健康チェックをしてもらいましょう！

歯周病を防ぐためには、正しいブラッシングで口腔内を清潔に保つ。噛み応えのある物を食べる。カルシウムやたんぱく質をしっかりとする。



います。実は、この「歯周病」は二〇歳代に、既に始まっているといわれています。あなたは、大丈夫ですか？

健康ばんざい



「おいしく食べて生き生き元気」

歯は長〜い友達

今月の担当は加藤保健師長です。

みがき残しはないですか？



歯周病チェック 10

- 歯ぐきは、ピンク色ではなく、赤い色をしている。
- 歯ぐきが腫れている。
- 歯ぐきから血が出ることもある。
- 唾液がねばねばしている。
- 歯が浮く感じがしたり、むずむずする。
- 歯が長くなった気がする。
- 口臭がする。
- 硬い物が、噛みにくくなった。
- 歯ぐきを押しと膿が出ることもある。
- 歯ぐきがグラグラすることがある。

みんなで築く

すこやかライフ

豊かな老後

国民健康保険・老人保健ガイド

国保・老健Q&A

	外来限度額 (個人ごと)	入院及び世帯の 限度額	
		一定以上所得者	一般
一定以上所得者	40,200円	72,300円+ (実際の医療費 - 361,500円) × 1% (40,200円)	40,200円
一般	12,000円	24,600円	15,000円
低所得者(住民税非課税)	8,000円		
(住民税非課税の世帯に属する方)			
(のうち所得が一定の基準に満たない方)			

備考 ・金額は1月当たりの限度額
 ・()内の額は、多数該当の場合(4回以降)
 ・長期高額疾病については、自己負担限度額は1万円となります。

Q 老人保健制度とはどんな制度ですか?
 A 老人保健制度は、市町村が主体となつて行う医療と保健の総合的な制度のことです。

Q その内容は?
 A 七十五歳以上(一定の障害のある方は六十五歳以上)の方と、昭和七年九月三十日以前に生まれた方に、適切な医療を提供し、また、四十歳以上の方の成人病予防などの保健事業を行うというものです。

お医者さんにかかるときには、

町から交付された「医療受給者証」「健康手帳」と、加入している医療保険の「保険証」を忘れずに受付窓口に提示ください。

このとき病院などでかかった費用の1割(一定以上の所得の方は二割)の一部負担金を支払うこととなります。なお、一ヶ月に支払う一部負担金(入院中の食事代を除く保険適用分)が高額になった場合には、申請することにより高額医療費として払い戻しを受けることができます。

高額医療費の支給対象となる一ヶ月あたりの負担限度額は次の表のとおりとなっています。

介護・福祉 Q&A 「介護保険制度について」

Q 介護保険の対象は何歳からですか?

A 40歳~64歳の方を第2号被保険者といい、老化に起因する特定疾病により介護が必要となった場合、サービスを利用できます。保険料は、加入医療保険に上乗せし納付します。

65歳以上の方は第1号被保険者といい、介護が必要となった場合、原因を問わずサービスを利用することができます。保険料は、所得に応じて5段階に分け、年金又は納付書により納めることとなります。

Q 介護サービスを利用するにはどうしたらよいですか?

A 介護保険サービスを利用するには、心身の状況をチェックする要介護認定(要支援、要介護1~5)を受けなければ、サービスを利用することができません。介護

サービスを利用したい場合には、苫前町役場しあわせ係及び古丹別支所窓口において申請手続きをしてください。

Q 介護保険の対象は何歳からですか?

A 介護サービスを受ける場合には、費用の1割が自己負担となります。介護サービスは、在宅サービス(ヘルパー、デイサービス、訪問看護、ショートステイ等)と、施設サービス(老人福祉施設、老人保健施設、療養型医療施設等)があり、在宅サービス費用は、1回の利用につき500~2,000円程度、施設サービス費用は1ヶ月につき3万~5万円程度が目安となります。(要介護度等により金額が異なります。)

お問い合わせ 苫前町役場町民課しあわせ係
 01646-4-2211(内線273)まで

山菜取り 無我夢中に 落とし穴

野山の味覚を親しむ「山菜」。例年、たくさんの愛好者が、それぞれの穴場に入山し方向を見失ったり、沢への転落、熊に襲われる事故が起きています。

特に、タケノコ採りに無我夢中で、背丈以上もある笹藪奥深くに入って迷ったり、熊に襲われるケースが多いようです。

慣れた山でも、油断するとそこに事故の「落とし穴」があることを忘れずに、

楽しい山菜取りを
満喫しましょう。



事故を防ぐためのポイント

- ・一人で山菜取りには行かない
- ・家族等に行き先と帰る時間を知らせる
- ・歩いた場所がわかるように目印を付ける
- ・目立つ服装をし、笛や雨具等を携行する
- ・道に迷った場合は、体力の消耗を考え落ち着いて行動する
- ・連絡手段として携帯電話等を携行する
- ・熊除けのため、ラジオや鈴を携行する
- ・熊の出没情報に注意し、熊の足跡や糞を見たときは、引き返す

羽幌警察署

ご厚志に感謝します

九重矢田正雄様	老人クラブへの寄付 (九重白葉会へ)	札幌市高橋豊様	札幌市内会へ (香川町内会へ)	札幌市田村理都子様	各町内会への寄付 (苫前町内会へ)	九重矢田正雄様	苫前町振興公社	社会福祉協議会への寄付	古丹別中学校 リサイクルバザー班	古丹別伊藤ハマエ様	古丹別	苫前町へ寄付
---------	-----------------------	---------	--------------------	-----------	----------------------	---------	---------	-------------	---------------------	-----------	-----	--------

きらりコンポスト無料配布

(生ゴミ堆肥)

4月24日(土)決定

午前9時 苫前(役場車庫前)
午前10時30分 古丹別(旧古丹別支所前)

配布総数量

1,200袋(1袋5キロ詰め)

配布方法

1人につき3袋まで

両地区ともに先着600袋まで

指定された場所に取りにこられた方のみ配布します。(電話での予約は、受け付けませんのでご了承願います。)

配布時間

上記時間から
1時間程度

詳しくは町民課
けんこう係まで
お問い合わせください。



留萌中部3町村任意合併協議会情報

3月1日に設立した留萌中部3町村任意合併協議会は、3月26日苫前町公民館で第2回目を開催し、合併協議項目のうち特に住民生活に関わりの深い項目や協議をスムーズに進めるうえでの基本かつ重要項目を先行して協議することとし、まず、合併するとした場合の方式は「新町を設置する新設合併」とし、合併するとした場合の期日は「合併特例法の法改正を前提とし、合併特例法(経過措置規定)が適用される期間内を目標」とする内容が確認された。

詳しくは、役場企画振興課まちおこし係と古丹別支所で議事録が閲覧できるとともに、同協議会事務局にて「協議会だより」が発行されます。また、ホームページも開設されましたので、内容を確認したい方は、ご覧いただきたいと思ひます。

また、協議会は次回4月22日午後2時より初山別村自然交流センターで開催されますので、傍聴を希望される方は、日程をご確認の上おいでください。

ホームページアドレス

<http://www3.town.haboro.hokkaido.jp/gappei/index.htm>

4月 町税の納期

今月は
軽自動車税
の納入月です。

納期内納入に
ご協力願います。

苫前町の交通事故情報

平成16年2月末現在
発生件数 死者数 負傷者数
1件 0人 1人
交通事故死ゼロ日数は
2月29現在で652日

平成16年4月1日 プレジャーボート条例スタート



4月1日からプレジャーボート等の水難事故を防止し、水域を安全に利用できるよう「北海道プレジャーボート等の事故防止等に関する条例」が施行され、

モーターボートやヨット、水上オートバイなど20トン未満の小型船舶の操縦者及び所有者における安全な操縦や安全管理義務が規定されているほか、提供事業者への届出が義務付けられており、違反者へは罰則（罰金等）規定も盛り込まれています。

場所によっては、利用できる水域に制限されており、詳しくは、北海道担当窓口へお問い合わせください。

ルールを守って楽しみましょう！

お問い合わせ先

北海道留萌支庁地域政策課主査（防災担当）

0164-42-1511

留萌に公設弁護士事務所開設

これまで留萌管内では、弁護士不在のため法的サービスを受けることができませんでした。今年2月に大谷和広弁護士（35歳）が赴任し、公設弁護士事務所「留萌ひまわり基金法律事務所」が開設されました。

現在、1日平均3件程度の相談があり、早期の相談は、結果的に時間と費用の縮小につながるケースが多いとのこと。

困ったときは、まず相談してみても、いかがでしょうか。

留萌ひまわり基金法律事務所

留萌市開運町2丁目4番1号

センチュリービル2階

TEL 0164-42-3341

FAX 0164-42-3342

mail 1.o-rumoi@circus.ocn.ne.jp

お詫び

広報三月号「文芸」作品において誤りがあり、次のとおり訂正するとともに、ご迷惑をおかけし深くお詫び申し上げます。

饒の「日日勉強」と差し延べし
古丹別 住吉 美恵

掌の熱きひと今にし恋ふる
古丹別 大矢根 亮子

母逝きし如月白く雪明かり
眠れぬままに幻影を追ふ

社会保険庁照会専用電話開設

社会保険庁では、被保険者の将来設計など年金行政サービスの質の向上を図るため、年金受給が近づいた58歳到達者に対して、被保険者記録を通知し、希望者への年金見込額を提供するサービスを3月15日から実施しています。

被保険者記録の事前通知及び年金見込み額の提供に係る業務内容は、社会保険庁ホームページに掲載し、照会専用電話を次のとおり設置しましたので、お気軽にお問い合わせください。

年金加入記録のお知らせ（3月15日から）

0422-70-0077

年金見込み額のお知らせ（4月22日から）

0422-70-0088

年金電話番「Q&A」（3月15日から）

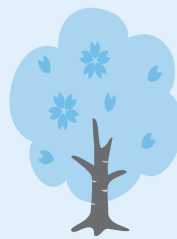
011-207-2255

社会保険庁ホームページ～WWW.nenkin.go.jp

労働保険年度更新の申告・納付 5月20日までに

説明会 4月15日(木) パワスポ留萌
10時～ 建設業以外
13時30分～ 建設業
集合収集 5月12日 13時～15時
苫前町商工会

5月20日まで随時、留萌労働基準監督署においても行っております。



苫前婦人会様からの寄贈
福祉センターへ（布巾三十一枚・雑巾二十五枚・タオル八枚）
苫前小学校へ（雑巾二十五枚）
苫前中学校へ（雑巾二十五枚）
苫前保育園へ（雑巾二十五枚）
古丹別婦人会様からの寄贈
公民館へ（雑巾三十枚、布巾十五枚）
古丹別小学校へ（交通安全ワイクブック二十二冊、雑巾五十五枚）
古丹別中学校へ（雑巾四十五枚）
古丹別保育所へ（雑巾三十二枚）

戸籍の小箱

ご成長をお祈り
申し上げます

未長くお幸せに

氏名	父・母	出生日	住所
池田 光来 (長男)	守見 / 純子	2月14日	古丹別
島田 宗一郎 (長男)	秀美 / 香織	2月17日	苫前
小畑 一葉 (長男)	洋起 / 京子	3月2日	苫前

慎んでお悔み
申し上げます

氏名	年齢	死亡日	住所
濱野松五郎	(78歳)	2月24日	旭
伊藤 悟	(74歳)	3月13日	古丹別

苫前小学校の児童の作品

ちびっこギャラリー

ちびっこギャラリー

ちびっこギャラリー

『山火事注意』



6年 瀬川 直生くん
動物の逃げまわっている姿をうまく表現できました。

『マジョをやっつけた』

マジョがおされているところが、うまくいった。むずかしかったところは、女の子をかくところです。



4年 西村 涼汰くん



『コロコロ クルリン』

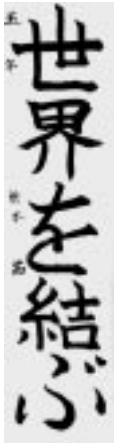
犬の大好きな骨をつけました。うまくできて気に入っています。



2年 成川 楓さん



『世界を結び』



5年 村本 茜さん
五文字の中で「ぶ」が一番上手くできました。

『笑っている自分』



5年 瀬川 和真くん
服の感じが上手にできてよかったです。もう少し名前がはっきりできると良かったです。

『りゅうくん涙ながさないで』

空の色やりゅうのうろこの色がぬるのがむずかしかったです。



3年 原野 未来さん



このコーナーは、町内の保育所（園）や小中学校の園児や児童生徒の作品を紹介します。ひとりでも多くの作品を紹介したいと思っています。
5月号の予定は古丹別中学校の生徒のみなさんです。

『笑っている自分』



5年 能登 知絵さん
一番難しかった所は、手です。指をほるのが難しかったです。

『おかしないえみつかった』

工夫したところは、木をいっぱいかいたところです。



4年 久野 龍一くん



風力発電の売電状況 (町営分)

16年の実績(1~2月分)
10,301,371円
平成16年2月分の実績
・供給電力量
504,690kWh
6,332,597円
(設備利用率27.92%)

春の陽気に誘われて、山々も色づきはじめる頃、上平の小林幸三郎さんから、こんな一枚の写真が寄せられました。場所は、上平町菅牧場内の沢地。ヤチブキが一面に咲き誇る。毎年、四月下旬から五月中旬まで満開になる。是非、皆さんにも見てほしいとのこと。ヤチブキは、おもしろいゴマ和え、お汁にして

読者フォトギャラリー

